

育こよ「鏡野のよいちん」ーズ



『自然の中で、人や自然との豊かな関わりを!!』

—上齋原中名物—

ワラビ採りを「存じですか」
上齋原中学校では、毎年五月の初めに生徒会の行事として全校で「ワラビ採り」をしています。

上齋原地区には、「蛇谷の滝」という滝があります。ワラビ採りの朝、生徒と教職員は、蛇谷の滝に続く道に自転車で集合します。全員が集合したところで、そこから歩いて滝のそばの広場まで行きます。毎年このことなので、足どりが軽やかです。広場に集まると、生徒会であらかじめ決めていた五・六人のグループ（生徒と教職員の混合）にわかれ、午前中いっぱいワラビを求めて野山を歩き回ります。

みな、先を争うようにグループごとにあたりに散らばっていきまします。丘の斜面をはうように進むもの、山の上へ上へと進んでいくもの、広場から下へ降りていくものと、それぞれのめざす方向はさまざまです。グループもだんだん乱れがちで、他の班のメンバーといっしょに行動することもあります。学年や生徒と教職員との垣根

を越えていろいろ話をしながらワラビ採りは進んでいきます。ワラビ採りをしていくそばには、水量豊かな蛇谷の滝があるので、水がみんないっぱい採りに忙しく、滝を眺める余裕もないほどです。

最後に、広場に集合し、班ごとに採った量を量ります。一番多く採った班には表彰状がでます。今年は全体で十八キロのワラビが採れました。そのうちの十六キロは、生徒会が、地域の食材をつかった料理を食べさせてくれる「いっぷく亭」にもって行きました。残りは、次の日の給食のおかずの一品になりました。幼小中の全員が食べるので、一人ひとりのおかずになる量は少ないですが、毎年、おいしくいただいています。

上齋原中学校にいとあたりまえに思えてきますが、この「ワラビ採り」は、自然の中で、人や自然との豊かな関わりを持てる、なかなかユニークな行事ではないでしょうか。このようなユニークな取り組みを通して、交流を図り生徒の健全育成に努めています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

上齋原中学校 白井 義彦



酢めし作り

いきいき体験クラブの子どもたちが『にぎり寿し』に挑戦!



ネタ切り

奥津いきいき体験クラブの子どもたち（小学生）と保護者、公民館スタッフ20名が、泉公民館の生活改善実習室において「にぎり寿し」に挑戦しました。

水田奥津公民館長の指導のもと、すし飯の酢合わせ・ネタ切り・にぎり方を教わりながら一生懸命に取り組みました。各自の皿に彩りを考えながら10個づつにぎり、予備の鉢にも盛り合わせました。

自分のにぎったお寿司をみんなで会食した試食会では、体験したことを話し合いながら満足した表情をしていました。ほとんどのメンバーが初めての体験でしたが、興味関心を示し積極的な行動が出来ました。後片付けにもみんなで助け合いながら頑張りました。

泉公民館 福井 通昭



にぎっている様子



試食会風景



子どものにぎった寿司